

地域づくり活動の行動計画

福岡徳洲会病院

2025年度
地域緩和ケア連携調整員研修（アドバンスコース）

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名 (職種)
福岡徳洲会病院 呼吸器内科	久良木 隆繁（副院長・医師）
福岡徳洲会病院 心療内科・内分泌・糖尿病内科	山下 真（医師）
福岡徳洲会病院 リハビリテーション科	江上 篤史（理学療法士）
福岡徳洲会病院 リハビリテーション科	馬場 晋平（作業療法士）
福岡徳洲会病院 薬剤部	山本 貴一（薬剤師）
福岡徳洲会病院 診療支援部	荻原 莉穂（公認心理師）

① 選定した地域の課題

1. 医療技術や知識のギャップ

医療機関・施設によって医療技術や知識にはばらつきがあること、またそれぞれの医療機関・施設における倫理観（終末期の対応等）なども異なるケースもあるため、情報共有が必要

2. ACPに関する知識不足や理解・認識のギャップ

医療機関・施設、またそれぞれのスタッフにおいてACPに関する知識の不足や理解・認識の差が生じているため、地域間共通の勉強会やトレーニングが必要

② どんな地域を目指すのか

顔が見える地域連携

当院主催の勉強会や事例検討会、退院前カンファレンスなどすでに開催されているものをリソースとして活用。それぞれのスケールを考慮しながら地域との関わりの場を設定、ネットワークを強化していくことで顔が見える地域連携を目指す

情報共有にしっかりとACPが組み込まれた地域連携

地域連携の場面でも院内で実施したACPの情報共有、引き継ぎの強化。ACPについてもしっかりと引き継ぎができる地域連携を目指す

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- ◎ 院内の連携強化
- ◎ 顔が見える地域連携、他機関との情報共有の実施
- ◎ ACP講習会の開催
- ◎ 医師会や行政との連携

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

◎ 院内の連携強化

<行動計画>

(1) 積極的な退院前カンファレンスの開催

現在は病棟看護師、MSW、訪問看護師の参加が中心となって
いるため、主治医やリハビリスタッフ、薬剤師等の多職種参
加を強化

<目標達成時期>

2025年10月中～
取り組み開始

(2) 病棟薬剤師の拡充

これまで各階2名ずつの配置となっていたが、病棟業務拡充を
目的に各階3名ずつ配置。患者指導や多職種連携強化を目指す

2025年10月中～
実施済み

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

◎顔が見える地域連携、他機関との情報共有を行っていく

＜行動計画＞※下記の連携の場を設定

(1) 退院前カンファレンスの多職種参加を強化

現在は病棟看護師、MSW、訪問看護師の参加が中心。主治医やリハビリスタッフ、薬剤師等の多職種参加を強化、ZOOMを活用した在宅医の参加を促す

＜目標達成時期＞

2025年10月中～
取り組み開始

(2) 症状緩和フォーラム 4回/年開催 (*1回/年は事例検討会)

現在は年3回の開催で院内限定のため、地域の医療機関・施設が参加できるようにする

*事例検討会は地域の医療機関・施設が参加可能、今後も継続予定

2026年4月～
順次開催予定

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

◎顔が見える地域連携、他機関との情報共有を行っていく

＜行動計画＞※下記の連携の場を設定

(3) 医療講演の対象地域の拡充

地域住民向けに月22回の講座を開催。2025年10月のがん関連は4講座開催、ZOOMでも視聴可能。現在の対象地域は当院近辺が中心のためを筑紫医療圏へと拡充していく

＜目標達成時期＞

(4) 市民公開講座の対象者の拡充、がん関連の内容検討

地域住民や他施設向けに年2回の医療講演を開催。がん医療に関する講座も積極的に開催予定

来年度中の
達成を目指
順次計画中

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

◎ ACP講習会の開催

＜行動計画＞※下記の連携の場を設定

(1) 多職種が参加できる院内勉強会の開催

院内の必須研修であるe-learningの活用、勉強会を開催

＜目標達成時期＞

来年度中の
達成を目標

(2) 医療講演でACPに関する講座を開催

地域住民向けに月22回の講座を開催。地域住民向けへのACPに関する
講座も開催予定

2026年1月～
順次計画中

(3) 市民公開講座でACPに関する講座を開催

地域住民や他施設向けに年2回の医療講演を開催。ACPに関する講座
も開催予定

2026年2月21日
開催決定

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

◎医師会や行政との連携

＜行動計画＞

- (1) 医師会が開催しているワークショップ等への積極的な参加
顔が見える連携の場で積極的に情報も発信していく

＜目標達成時期＞

2回/年の参加

- (2) 福岡県緩和ケア専門部会など行政との連携を強化

年2回開催されており、今年度より当院も参加開始。行政担当者とも
顔が見える連携を目標

参加継続予定

- (3) 現在も連携中の行政との連携継続・強化

身寄りのない患者様に関して各役所の保護課との情報共有や面談など実施。ケースによっては地域包括支援センターや社会福祉協議会とも連携している。今後も細やかな情報共有により連携の強化、顔が見える連携を目指す

連携継続